氏名	佐 藤 迪 彦
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 256 号
学位授与の日付	昭和42年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 （学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**ベクトル心電図に関する研究** **第1報 健常若年者のベクトル心電図** **第2報 右室負荷のベクトル心電図**
論文審査委員	教授 小坂淳夫　教授 平木　潔　教授 西田　勇

学位論文内容の要旨

第一報では，Frank 法により，健常若年者（平均22.7歳）172例のベクトル心電図を撮影し，その定量的分析を行なった。すなわち，空間 QRS および T 最大ベクトルの大きさ，空間最大QRS・T 角各面における QRS および T 最大ベクトルの大きさと方向，水平面および側面における QRS 半面積ベクトルの大きさと方向，QRS および T 極性ベクトルの大きさと方向などについて分析検討した。また水平面における QRS 環の形により，これを6型に分類することができた。さらに木村法による定量的分析を行ない，両者を比較検討した。

次いで第二報では，Frank法により，右室負荷の存在を推定または確認しえた心疾患62例のベクトル心電団を撮影し，その定量的分析値および水平面の形と血行動態との関係について検討した。血行動態ともっとも関連のあるのは，水平面における QRS 環の形であり，次いで水平面における T 環の方向であった。

（昭和42年12月，岡山医学会雑誌，第79巻，11.12号，掲載予定）

論文審査の結果の要旨

本研究はベクトル心電図につき，従来日本人の健常若年者の Frank 法による測定基準値が確立していない点に注目して，研究を行なうと共に右室負荷を右室拡張期負荷と右室収縮期負荷に分けて QRS 環の分析を行なったもので，価値ある業績である。

よって本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。